

ワクチンアンケートに寄せられた質問に対する回答

*主に複数の方からいただいたご質問を中心に
お答えさせていただきました



富山市立学校新型コロナウイルス感染症対策検討会議

Q デルタ株では子どもは感染しやすくなった？



デルタ株は感染力が従来株の2倍程度とされ、すべての年代で従来株よりもかかりやすくなったと言えます(子どもだけが特別にかかりやすくなったわけではありません)。また、これまでは子どもは新型コロナウイルスにかかっても無症状のことが多かったのですが、発熱や頭痛などの症状は従来株よりも出現しやすいとされています。

Q デルタ株で子どもは重症化する？



成人ではデルタ株にかかると重症化リスクが高くなり、実際に国内でも30-40代で重症化する方が見られました。一方、子どもにおける重症化リスクは従来株と大きな変化がないとの報告が、米国や英国などから出ています。国内でも小児重症例の評価が始まっていますが、RSウイルスやインフルエンザほどの重症度ではありません。

Q デルタ株にワクチンは効かない？



デルタ株は感染力が強いため、時々接種済みでも感染してしまう事例（ブレイクスルー感染）が発生します。それでも、デルタ株の流行下においても感染リスクは1/10以下に抑えられています。重症化予防効果は年齢に関わらず、少なくとも半年程度は保たれていると報告されています。デルタ株にもワクチンは効果を示しています。

Q ワクチン接種後の運動はいつから OK ですか？



ワクチン接種当日の激しい運動は避けてください。翌日以降で、体調に問題なければ、運動制限はありませんが、まれに起こる心筋炎は接種後 2~4 日に多く発症しており、胸痛、息切れなど体調に違和感がある場合は運動を避け、医療機関に相談してください。





Q ワクチンの副反応で将来に影響はないでしょうか？

今回のワクチンは世界中でまだ接種しただけです。医学的な推測としては、大きな問題はないであろうと考えられていますが、もちろん将来のことを完璧に予測できるわけではなく、「分からない」とも言えます。リスクの無い社会行動はなく、不安が強いようであれば、かかりつけ医に相談する、もしくは接種を待機することも一つの手段です。



Q アレルギーがある場合のワクチン接種はどうしたら良いでしょうか？

多くの子どもたちが、喘息や花粉症、食物アレルギー、薬剤アレルギーなどを抱えています。これらの病気を持っているお子さまでも多くの場合は問題なく、ワクチン接種ができます。慎重な対応をするため、アレルギーがあることを問診表に記載し、会場で申告すると良いでしょう。



Q 他のワクチンとどれくらいの期間をあければ、接種できますか？

コロナワクチンと他のワクチンは前後 2 週間の間隔をあけることになっています。
正確な副反応評価のためにも接種間隔は順守してください。



Q 子どもたちの体格は様々で、ワクチンの量は適正ですか？

現在、米国で治験中の 5 歳～11 歳には、成人の 3 分の 1 の量で接種しています。つまり、11 歳と 12 歳の接種量の差は 3 倍になるわけです。ただし、現時点で国内外の 12 歳児に大きく偏った副反応の報告は見当たりません。ご指摘の通り、副反応の程度を中心に、今後も注意して評価をしていくべき点だと思います。

